

< 本校の研修主題 >

「考える力」を育てる授業の改善

～問題解決的な学習過程における手立ての工夫を通して～

< 本校算数科が目指す「考える力」 >

見通しをもち、筋道を立てて考える力

< 「考える力」を身に付けた児童像 >

見通しをもち、既習事項を活用して自分の考えをつくりあげる子
自他の解決方法を比較・検討し、よりよい考えをつくりあげる子

考える力の「高まり」「深まり」「広がり」

まとめ

問題解決に用いた数学的な考えのよさを自分の言葉でまとめる。

本時のねらいと児童が記述、発言する内容に整合性をもたせるような問いかけ。

練り合い

自分の考えを簡潔・明確に説明する。
自他の解決方法を比較・検討する。

児童から考えを引き出し、関わり合わせるための手立ての工夫。

- ・練り合いの視点を明確化。
- ・それぞれの解決方法への関わりを深めさせるための発問。(他者説明、展開を予想、比較)
- ・聞き手を意識し自分の考えを分かりやすく説明させるための支援。
- ・それぞれの考えを検討しやすくするような板書の構成。
- ・より洗練されている考えの確認。

< はかせ > の考え

は「はっきり」
か「簡単」
せ「正確」

自力解決

既習事項や仮定に基づいて考える。
自分の考えを簡潔・明確に表現する。

自分の考えを明確にもてるような手立ての工夫。

- ・個の学習状況に応じた支援。
- ・児童の表現力を高めるためのワークシートの工夫。
- ・順序立て、根拠を明らかにしながら思考過程を表現させる指導。
- ・児童の思考を活性化するために有効な教具。

課題把握

事象から数学的な問題を見つけようとする。
見通しをもち。

課題解決への意欲を喚起させるような課題、及びその提示方法の工夫。

- ・前時との共通点や相違点の確認。
- ・本時の学習内容に関わる既習事項の提示。

算数科の問題解決的な学習過程

授業の工夫・改善の手立て

